

注释日本概况丛书

东京

习聿 编 注

外语教学与研究出版社

注释日本概况丛书

東京

习聿 编 注

外语教学与研究出版社

注釈つきの日本事情シリーズ
(初学者向けの日本語課外読物)

とう きょう
東 京

2004/06

注释日本概况丛书

东 京

习聿 编注

外语教学与研究出版社出版

(北京外国语学院23号信箱)

北京外文印刷厂排版印刷

新华书店北京发行所发行

全国各地新华书店经售

开本787×1092 1/32 2.75印张 54千字

1982年5月第1版 1982年5月 北京第一次印刷

印数1—24,000册

书号: 9215·53 定价: 0.30元

编者说明

〈1〉本丛书选用日语原文浅易读物,语言规范,通俗易懂,可供日语专业低年级学生及广大日语初学者课外阅读使用。

〈2〉本丛书系知识性读物。它不但可以帮助读者提高日语语文水平,而且可以帮助读者了解日本社会风土、习惯、历史、地理等方面的情况。

〈3〉本丛书第二册《东京》选自日本语教育学会编写的《日本事情シリーズ東京》一书。该书分两个部分。第一部分介绍日本首都——东京的历史、风土、城市特色、名胜古迹、经济状况等,并且对东京作为一个大工业城市存在的一些问题提出看法。第二部分铃木的一天,描写一个典型的东京人的生活方式,不但文字简练,生动活泼,而且内容丰富,对于了解一般日本人的生活习惯很有帮助。

〈4〉本书附有详细注释、例句及单词表,并有原文标准录音,需复制者请与北京外国语学院电化教学办公室联系。

〈5〉本丛书今后将陆续编注出版。

目 次

とう きょう れきし 東 京の歴史	1
とう きょう ふう ど 東 京の風土	3
とう きょう こうつう きかん 東 京の交通機関	5
とう きょう じん こう 東 京の人口	7
とう きょう さんぎよう 東 京の産業	7
まち とくしよく 町の特 色	9
としん ふくとしん (1) 都心と副都心	9
やま て したまち (2) 山の手と下町	10
た まち いき (3) 多摩地域	11
とう きょう がいしよ 東 京の名所	12
こうきよ しゅうへん (1) 皇居とその周辺	12
めいじ じんぐう しゅうへん (2) 明治神宮とその周辺	14
うの の こうえん (3) 上野公園	16
あさくさ (4) 浅草	18
ぎんざ (5) 銀座	19
かんだ (6) 神田	20
とうきょうえき (7) 東京駅	20
とうきょう (8) 東京タワー	22

とうきょう　なや 東京の悩み	23
すずき　いちにち 鈴木さんの一日	25
とうきょうじん　せいかつ —ある東京人の生活—	
単語表	64

とうきょう れきし 東京の歴史

とうきょう にほん しやと
東京は日本の首都です。ですから、日本の政治は東京を
ちゆうしん おこな
中心として①行われています。しかし、そればかりでな
く②、けいざい きやういく ぶんか ぶんや とうきょう にほん ちゆうしん
経済・教育・文化などの分野でも東京は日本の中心
ち
地となっています。

たか た なら こうそくどうろ ち かてつ しほうはつばう の
高いビルが建ち並び、高速道路や地下鉄が四方八方に延び
てゐるこの東京の町は近代的な大都会といえるでしょう。

げんざい じんこう まんにん こ
現在、人口は1100万人を超えています。

しかし、このような東京も500年ぐらい前までは住む人も
あまりいない寂しい所だったのです。この地に初めて城を築
き発展のもとをつくったのは太田道灌③というひとです。その
はつてん おおた どうかん ひと
城は1457年に今皇居④のある場所に造られました。しかし、
しや ねん いまこうきよ ばしよ つく
東京が町として本当に発展したのは1603年に徳川家康⑤が
とうきょう まち ほんとう はつてん ねん とくがわいえやす
この地に幕府⑥を開いてからです。当時東京は江戸と呼ば
れていました。その後徳川幕府⑦が長期化するにしたがつ
て⑧、江戸には日本各地から人が集まり住むようになりまし
た⑨。19世紀の初めには100万人以上の人が江戸に住んでい
たといわれています。そうだとすれば⑩当時世界で最も大き
とし おも じんこう まんにん ねん
な都市とされていたロンドンの人口86万人(1801年)より

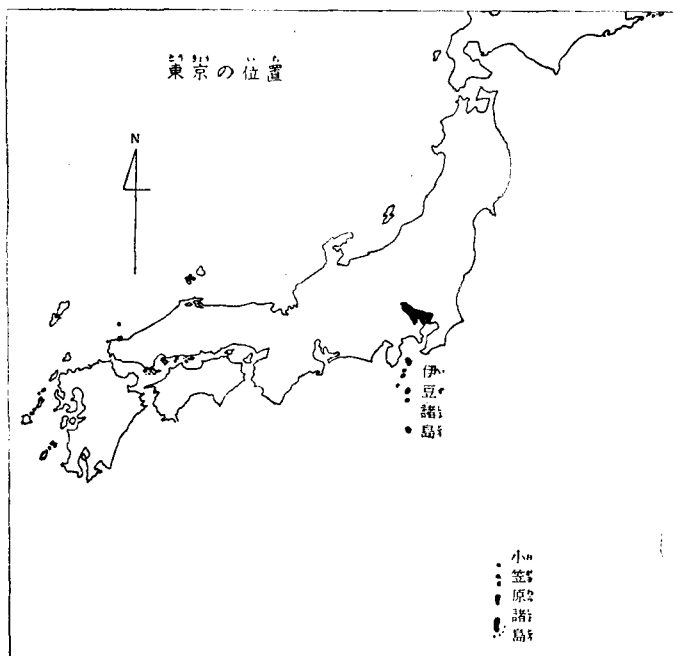
もずっと多かったことになります。また江戸時代^⑩は鎖国^⑪といっ**て**ほとんど外国との交流をしなかったため、歌舞伎^⑫のような日本独特の文化が江戸を中心に栄えました^⑬。1868年、江戸時代は終わり、明治維新^⑭を迎えました。そして、今まで京都に住んでおられた^⑮天皇が江戸に移られ、江戸は東京と呼ばれるようになりました。

明治時代^⑯になってから鎖国政策が廃止されたため、諸外国の文明が日本へどっと入ってきました。特に東京の町は急速に西洋化され、町の姿は大きく変わりました。銀座^⑰には洋風の建物が建ち、街燈が**つき**、電車が走るようになりました。こうして東京はだんだん近代的な都市になっていきました。ところが、1923年9月に関東地方に大地震がありました^⑱。この時東京は大きな被害を受け170万人もの人が家を失いました。しかし、多くの人々の努力で間もなく復興した東京は更に発展を続け、見違えるような立派な町になりました。けれども、1939年に第二次世界大戦が始まり、1945年には東京も空襲で再び壊滅状態になってしまいました。

戦後、日本人は平和憲法^⑲をつくり、二度と戦争をしないことを世界に誓いました。そして、一生懸命に日本の再建に努力しました。東京もどんどん新しい建物が建てられ、今では戦争の跡もほとんど見られない^⑳近代的な都会に生まれ変わったのです。

とうきょう ふう ど 東京の風土

とうきょう ほんしゅう ちゆうおう とうきょうわん めん
東京は本州のほぼ中央にあって、東京湾に面していま
す。とうざいやく なんぼくやく ほそなが
東西約90キロメートル、南北約25キロメートルの細長い
かたち 形をしています①。また、いずしやとう りくち
伊豆諸島②や陸地から1000キロメ
ートル以上も離れた小笠原諸島③などもとうきょう ふく
東京は西側が山地になっていて、そこから東側の海までだ
んだんひくくなる坂のような地形になっています。東側にある



江戸川、荒川、などの河口は川が運んできた土や砂が積もったり海を埋め立てたりしてできた低地で、「下町」④と呼ばれています。特に、荒川と隅田川⑤にはさまれた部分には「ゼロメートル地帯」⑥と呼ばれる海面より低い所があります。ここは水害や地震による津波などの危険にさらされています。下町に対してその西側の少し高くなっている所は「山の手」⑦と呼ばれています。

東京の平均気温は摂氏15度ぐらいですが、1月、2月などは大変寒くなり、摂氏0度以下になることもあります。また、7月、8月は反対に暑く、摂氏30度を超える日が続くこともあります。夏は湿度が高く、蒸し暑くなります。冬は空気が乾燥しています。雨量は年平均1500ミリです。6月の中ごろから7月の中ごろまでの梅雨季節と9月、10月ごろの台風シーズンには雨がよく降ります。また、1月、2月ごろは雪の降ることがあります。一口に東京といっても、西側の山地と東側の低地とでは気温がかなり違い、一般的に東側の方が西側より温度が高いです。伊豆諸島は黒潮⑧のため冬でも暖かく、南の小笠原諸島は亜熱帯気候になっています。

とうきょう こうつう き かん 東京の交通機関

ねんしんばし よこはま あいだ にほん はし きしや はし
1872年新橋と横浜との間に日本で初めて、汽車が走りまし
た。それからとうきょう でんしや じどうしや ちかてつ の乗
り物が現れ、やがて道路が整備されていくにつれて①東京の
こうつう めざ はつたつ
交通は目覚ましく発達してきたのです。

では、まず陸の交通から見ていきましょう。東京は新幹線
をはじめとして②、神戸までの東海道本線や北の青森まで行
く東北本線などの出発点になっています。東京駅や上野駅
などはプラットホームの数も多く、地方から東京に着いた人
やこれから地方へ行こうとする③人たちで一日じゅう④混雑
しています。また、とうきょう こくでん し てつ ちかてつ でん
車やバスが綱の目のように走っています。国電の中で特徴の
あるのは山手線です。山手線は東京の中心部を丸く輪のよう
に走っているのです。そして、その輪を東西に切るような形
で中央線が走っています。そのほかに京浜東北線や常磐線
などがあります。地下鉄もたくさん建設されています。1927
ねん かいつう ぎんざせん まる うちせん ひびやせん ち
年に開通した銀座線をはじめ、丸の内線、日比谷線などの地
下鉄が走っています。また、こうがい としん かよ ひとびと
を運ぶ私鉄も大切な交通機関です。

国電や地下鉄は線によって車体の色が違ってきます。例えば、国電は山手線が緑色、中央線がオレンジ色、京浜東北線が青というように、また地下鉄は丸の内線が赤、銀座線が黄色というように分かれています。それで、見た時もきれいですし⑤、色で何線かが分かるので、とても便利です。国電はラッシュ時には2・3分間隔で走っています。それでも新宿駅、渋谷駅、池袋駅などの大きい駅では朝夕大変混雑します。

以前は路面電車が町の中を走っていましたが、道路に車があふれるようになったため、現在ではほとんどバスに替えられました。そして、駅の前にはバス・ターミナルがつけられ、ここからいろいろな方面へバスが出ています。大勢の人を乗せて運ぶこれらのバスを速く走らせるため、ラッシュ時にバス専用レーンを設けている道路もあります。

また、浜松町から羽田の空港までモノレールが走っていて、都心から飛行場までの大切な足になっています。これは全長13ロメートルあり、世界一長い⑥モノレールだと言われています。

東京を走る車の数も多くなってきました。そこで、都心を走る高速道路や地方へ延びる高速道路が建設されています。特に東名、中央、関越⑦などの高速道路は産業道路⑧として大切な役割を果たしています。

次に、海と空の交通を見てみましょう。

東京港は東京の「海の玄関」です。ここには船の乗客の

の お にもつ つ お つか とう づく
 乗り降りや荷物の積み下ろしに使われるふ頭がたくさん造ら
 れています。ここへは一日に 200 隻以上もの船が出入りし、
 貿易港としても重要な港となっています。
 はね だ くう こう とうきよう そら げん かん まい
 羽田にある空港は東京の「空の玄関」です。ここでは毎
 日大勢のお客を乗せた飛行機が離着陸しています。

とうきよう じん こう 東京の人口

とうきよう と ちよ だ く みなとく せ たが や く く ひさし
 東京都は千代田区、港区、世田谷区などの23の区と武蔵
 の し みたかし たちかわ し し にした まぐん い ずしやう
 野市、三鷹市、立川市などの26の市と西多摩郡と伊豆諸島、
 お がさわらしやう げんざい まんにん
 小笠原諸島とからできています。そして、現在では1100万人
 い じよう か みつ と し とく く ない じんこうみつど
 以下の過密都市①になっています。特に23区内の人口密度
 とうきよう た ばしよ たか さいきん し
 は東京の他の場所よりもずっと高いです。それで、最近
 ぶ とうきよう と な あ さいたまけん ち ばけん か ながわけん す
 部や東京と隣り合っている埼玉県、千葉県、神奈川県に住む
 ひと おお とくろ す ひと
 人が多くなりました。しかし、そのような所に住んでいる人
 ひる まつうきんつうがく と しん き よる こうがい かえ
 たちは昼間通勤通学のため都心へ来て、夜また郊外などへ帰
 と しん ひる ま やかん じんこう さ おお
 っていくので、都心の昼間と夜間の人口の差がとても大きく
 とく ちよ だ く かいしや かんちやう おお
 なっています。特に千代田区などは会社や官庁が多いため、
 ひる ま じんこう やかん じんこう ばい ばい
 昼間の人口が夜間の人口の6倍から8倍にもなっています。

とうきよう さんぎよう 東京の産業

ねん ぐく せいちやう さ とうきよう きか さん
 1975年の国勢調査①によると、東京でいちばん盛んな産

ぎよう おろしうりしよう こうりしよう ぎよう つうしんぎよう うん ゆ ぎよう
業は卸売商、小売商、サービス業・通信業、運輸業などの
だいさん じ さんぎよう どうきようぜんたい やく
第三次産業で、東京全体の約65パーセントになっています。
こうぎよう けんせつぎよう だいに じ さんぎよう やく のう
工業、建設業などの第二次産業は約34パーセントで、農
ぎよう りんぎよう すいさんぎよう だいいち じ さんぎよう たつ
業、林業、水産業などの第一次産業は1パーセントにも達
せんこく だいいち じ さんぎよう もつと すく だいさん じ さんぎよう
しません。全国で第一次産業が最も少なく、第三次産業が
もつと おお とうきよう とくしよく
最も多いことが東京の特色です。

はじ しようぎよう み とうきよう だいしようさまぎま
初めに商業について見てみましょう。東京には大小様々
とんや こうりてん とんや
な問屋や小売店がたくさんあります。問屋というのは生産者
いちど しようひん か い こうりてん おろ みせ
から一度にたくさんの商品を買入れて、小売店に卸す店の
とんや ちゆうおうく たいとうく ちやだく おお あつ
ことです。問屋は中央区、台東区、千代田区などに多く集ま
たと ちゆうおうく にほんばし ほうり どもちやう じよく
っています。例えば、中央区の日本橋堀留町には呉服の、
たいとうく くらまえ ちやだく あきはばら でんき きぐ
台東区蔵前にはおもちゃの、千代田区秋葉原には電気器具の
とんや
問屋がたくさんあります②。

つき じ ちゆうおうおろしうり いち ば せい ちゆうおうおろしうり いち ば
築地には中央卸売市場があります。中央卸売市場は生
せんしよくりやうひん りやうつう ちゆうしん や さい
鮮食料品の流通の中心となっています。ここには野菜、
くだもの さかな にく なら あきはや げん き よ
果物、魚、肉などがたくさん並べられ、朝早くから元気の良
せ う こえ ひび せ う ごぜん じ
い競り売り③の音が響きます。この競り売りは午前9時ごろ
までつづ
続けられます。

こうりてん とんや おろしうり いち ば し い しな もの いたばん ひとびと
小売店は問屋や卸売市場から仕入れた品物を一般の人々
う こうりてん ちい みせ
に売ります。小売店には小さな店だけでなく、スーパー・マ
ーケット④、デパートなども含まれます。銀座、日本橋、新
じゆく しよや いけぶくろ ぎんざ
宿、渋谷、池袋などにはデパートがたくさんあります。銀座
こうきやうひん せんもんでん おお ところ ゆうめい こくでん
は高級品の専門店が多い所として有名です。また、国電や
してつ かくえき ちか しやうてん がい
私鉄の各駅の近くにはたいてい商店街があります。ここに

は食料品や日用品を売る多くの小売店が集まっています、特に夕方などは大勢の買客でにぎわっています。ぎわ(和)

次に、工業について見てみましょう。東京の工場は品川区や大田区などの東京湾に沿った区域と江東区の荒川に沿った区域に集まっています。品川区や大田区などの地域では金属を加工する工場が多く、台東区、荒川区、江東区、墨田区などでは飾り物やおもちゃなどを作る工場が多いです。最近(和)は場所が狭くなったり、公害の問題が起こったりして、大きな工場は三鷹市や調布市などの市部や外の県へ移転しはじめています。

最後に、農業を見てみましょう。農地は23区内には少なく、大部分が市部や郡部に⑤あります。しかし、それも年々減少しています。しかも、そのほとんどが会社や工場に勤めながら農業をするという兼業農家⑥です。作物では野菜がいちばん多く、東京の全農作物の30パーセントを占めています。このほかに米や麦などもとれます。

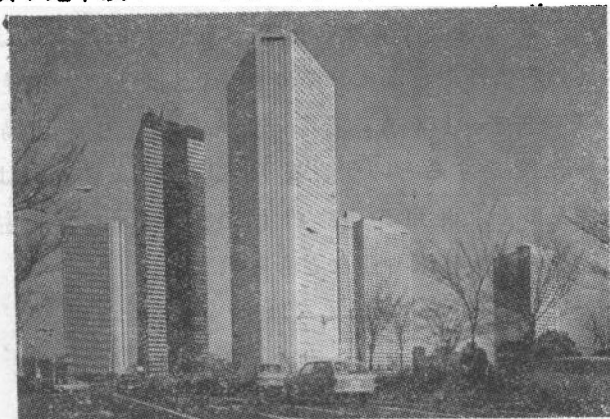
まちの特色

(1) 都心と副都心

千代田区の霞が関や丸の内、中央区の銀座や日本橋などは都心と呼ばれています。都心には官庁や大きな会社、銀行

などの立派なビルが建ち並んでいて、大勢の人が働いています。
す。国会議事堂①や最高裁判所などもここに 있습니다。また、
日本の貨幣を発行している日本銀行があるのもここです。

一方、新宿、渋谷、池袋、などは副都心と呼ばれています。
す。②副都心は都心に集中している会社や官庁の一部をこ
こに移して、交通の混雑を防ぐために計画されました。これ
らの町にはデパート、商店、飲食店、映画館などがたくさ
んあり、買い物や娯楽の町としても栄えています。副都心は
山手線の駅を中心につくられています②。これらの駅に
は私鉄や地下鉄やバスなどの交通機関が集中しています。



副都心新宿の高層ビル

(2) 山の手と下町

山の手は江戸時代に武家屋敷があった所です。現在は高級

じゆうたくち おお みどり おお とろ やま て さか おお ふく
 住宅地が多く、緑の多い所です。山の手には坂が多く、複
 雑な地形になっています。したまち え ど じ だい しようぎよう こうぎよう
 下町は江戸時代から商業や工業
 の盛んな所です。問屋や工場が多く、浅草や上野などの繁
 華街もあります。また、したまち え ど じ だい しよみん まち
 下町は江戸時代の庶民の町であり、
 昔の庶民の気風がまだ生きている所です。そして、ここ
 で生まれ育った人は江戸っ子と呼ばれています。

(3) 多摩地域

とうきよう にしはん ぶん ち し ぶ ぐん ぶ た ま ち い き よ
 東京の西半分に当たる市部と郡部は多摩地域と呼ばれて
 います。ここはむさしの だいち おくた ま さん ち わ
 武蔵野台地と奥多摩の山地に分けられます。
 むさし の だいち むかしあ ところ え ど じ だい みず ひ
 武蔵野台地は昔荒れ地だった所ですが、江戸時代に水を引い
 て、新田を開きました。

めいじ い とうきよう はつてん じゆうたく こうじよう
 明治以後東京が発展するにつれてだんだん住宅や工場が
 建ち並び、人口が増えてきました。

むさし の だいち のうぎよう はたさく ちゆうしん や さい うえ き くさばな
 武蔵野台地の農業は畑作が中心で、野菜や植木や草花を
 つく 作っています。これらの農家では家の周りに木をたくさん植
 えています。これは冬の季節風を防いだり、外から土ぼこり
 がはい 入らないようにするため、屋敷林と呼ばれています。

おくた ま さん ち た ま が わ しりゅう あきかわ あさかわ すいげん
 奥多摩の山地は多摩川やその支流の秋川、浅川などの水源
 地です。た ま が わ じようりゅう と つく おく た ま こ
 多摩川の下流をダムでせき止めて造った奥多摩湖
 の水は、と みん たいせつ の みず りよう
 都民の大切な飲み水として利用されています。ま
 た、おくた ま りんぎよう おこな
 奥多摩ではわずかながら④林業も行われており、スギや

は 有 数 伯